

第4学年 体育科学習指導案

1 単元名 体づくり運動 「多様な動きをつくる運動」～コツは動きの幅を広げる～

2 単元について

(1) 一般的特性

体づくり運動は、「体ほぐしの運動」及び「多様な動きをつくる運動」で構成され、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、多様な動きを身に付けたり、動きの質を高めたりする運動である。

(2) 児童から見た特性

手軽な運動を行うことを通して自己の心と体の状態に気付いたり、友達と関わり合ったりするとともに、多様な動きをつくる運動の行い方を知ることができる運動である。また、友達の動きを見たり、話し合ったりしながら、動きの幅を広げていくこともできる。しかし、友達とうまく関われないときや運動がうまくできないときに達成感を感じることができない運動でもある。

3 児童の実態

略

4 仮説への迫り方

各部会における仮説検証の手立て ※研究紀要 P5参照

(1) 指導観

本単元では、バランスをとったり、用具を操作したりする動きのコツを見付けながら、動きの幅を広げていくこと、そして、グループで協力して動きを組み合わせることができることを目指したい。そこで、以下の三つの手立てを講じていく。

一つ目は、学習カードを活用する。児童の動きの気付きや学んだこと、どのようなことを考えて運動をしていたのかということは、教師の観察だけでは難しく、実態を把握することは容易ではないと考える。学習カードを活用することで、教師は児童の実態把握をすることができ、児童は学びの過程を振り返ったり、見通しをもって学習に臨んだりすることができるようにする。本単元の課題である、「動きのコツは何か」を見付けられるように、動きのポイントを振り返ることができるようなものにしていく必要がある。そこで、「楽に・スムーズに動くためのコツは何ですか。」「もっと動きをおもしろくするために動きを組み合わせるにはどうしたらよいですか。」などの問いを立てていきたい。児童の動きを図や写真を用いて可視化することで、見通しをもって学習に臨めるようにしたい。また、学習カードを次時にやってみたい動きや、できるようになりたい動きを見付けられるものとしても、活用できるようにしていきたい。

二つ目は、学習財を工夫する。休み時間に校庭で平均台やボールを使用して慣れ親しんで遊んでいることから、児童の実態や取り組みやすさ、動きの工夫のしやすさなどを考慮し、「平均台で体のバランスをとる運動」と「ボールを操作する運動」をもとになる動きとして取り入れていく。また、動きの幅を広げていくためにフラフープやケンステップ、縄なども使用できるようにする。指導においては、もとになる動きに人数、用具、高さ、方向など、少しずつ変化を加えていくことで

「ちょっと難しく」しつつ、楽しみながら動きの幅を広げられるようにしていきたい。

三つ目は、学習過程を工夫する。様々な動きを試しながら、動きのコツを見付け、友達に伝えられるようにしたい。そのため、単元前半は、運動の特性に触れながら、動きのコツを見付けるための十分な運動を経験できるように、もとなる動きの知識・技能を獲得する時間を設定する。単元中盤から後半にかけては、単元前半で学習した知識や技能を生かした動きの組み合わせを工夫する時間として設定し学習していく。毎時間の学習内容については、体ほぐしの運動を始めに行い、心と体の緊張感をほぐしてから多様な動きをつくる運動の学習に入る。学習課題は児童の課題意識や困り感から提示する。学習課題の達成に向けて、グループで協力しながら運動に取り組み、動きのコツを共有する。それぞれのグループが前時で獲得した動きのコツや技能と課題意識とを合わせていき、学習課題の達成状況を振り返るとともに、動きのコツを共有する。そうすることで、動きのコツを見付けて、できるようになることを増やし、動きの質を高めること、そして、グループで協力して動きを組み合わせることができるようしていきたい。

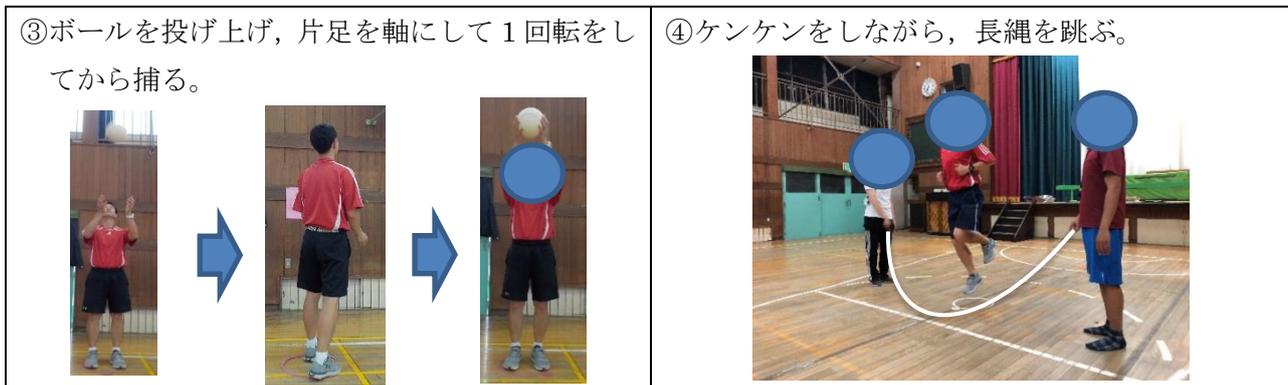
以上の手立てを講じて、主体的・対話的で深い学びの実現を目指したい。

(2) 本単元で扱う教材について

| | 体のバランスをとる運動 | 用具を操作する運動 |
|------------|--|--|
| 教材名・もとなる動き | <p>【1. バランスマスター】</p>  <p>・平均台の上でバランスをとったり歩いたりする。</p> | <p>【2. ボールマスター】</p>  <p>・ボールをその場で投げ上げて捕る。</p> |

(3) 予想される組み合わせの動き

| | |
|--|---|
| <p>①平均台を渡りながら、ドリブルをする。</p>  | <p>②平均台を渡りながら、パスをする。</p>  |
|--|---|



5 単元の目標

| | |
|--------------|---|
| 知識及び技能 | 多様な動きをつくる運動の行い方を知り、体のバランスや用具の操作などとともに、それらを組み合わせることができるようにする。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | 自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | 運動に進んで取り組み、助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 |

6 体育の学力

| 体 育 の 学 力 | |
|---------------|---|
| 知識・技能 | 多様な動きをつくる運動の行い方を知ることができ、体のバランスをとったり、用具を操作したりするとともに、それらを組み合わせた動きができる。 |
| 思考・判断・表現 | ①課題を見付け、その課題を解決するための運動の行い方を工夫している。 ②運動の行い方について、考えたことや見付けたことを友達に伝えている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ①多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ②運動を行う際にきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ③使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ④友達の考えを認めようとしたり、互いの気持ちを尊重し合おうとしたりしている。 ⑤活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。 |

7 指導計画 体づくり運動（多様な動きをつくる運動） 6時間（本時 5／6）

| 時間 | 1（はじめ） | 2 | 3 | 4（なか） | 5（本時） | 6（おわり） | |
|--------|--|---|--|------------|-----------|-------------|------------|
| | マスター試験に挑戦をして知識・技能を獲得する。 | | | 動きを組み合わせる。 | | | |
| 0 7 | オリエンテーション ・単元を通した学習のねらい ・学習のルール ・用具の扱いについて 体ほぐしの運動 ・リズムなわ跳び ・ラインおに 多様な動きをつくる運動 <体のバランスをとる運動> ・渡る ・回る <用具を操作する運動> ・投げる，捕る ・転がす 課題をつかむ | ・あいさつ ・用具の準備 ・体ほぐしの運動（準備運動） ・健康観察 ・課題確認 多様な動きをつくる運動 ・ボールを投げ上げて捕る。 ・平均台で歩いたり，バランスをとったりする。 ・長縄を片足で跳ぶ。 <予想される課題> 「楽に，スムーズに」するコツを考える。 <予想される練習> 視線を変えたり，体の向きを変えたりして運動をする。 | ・あいさつ ・用具の準備 ・体ほぐしの運動（準備運動） ・健康観察 ・課題確認 多様な動きをつくる運動 ・ボールを投げ上げて1回転してから捕る。 ・長なわ跳びをしながらボールを投げ上げて捕る。 ・ケンステップの中で片足バランスをしながらフラフープを回す。 <予想される課題> 「ちょっと難しく」を目指した動きをする。 <予想される練習> ・人数を増やしたり，テンポを速くしたりする。 ・できる動きの時間や回数を増やす。 ・ペアグループにオリジナル技を紹介する。 | | | | |
| 37 | ・反省(学習カード記述) ※単元のはじめ（1時間目），なか（4時間目），おわり（6時間目）については記述内容の変容を見取るため記述時間を5分とし，それ以外は3分とする。 | | | | | | |
| 45 | ・まとめ ・片付け ・クールダウン ・あいさつ | | | | | | |
| 評価 | 知識・技能 | ①運動の行い方 | → | | ②運動の組み合わせ | → | |
| | 思考・判断・表現 | ①運動の工夫 | → | | | ②運動の行い方を伝える | → |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | ⑤安全 | ②決まりを守る，励まし合い | ①進んで取り組む | → | ③準備や片付け | ④友達の考えを認める |

| 児童への安全・安心な活動のための指導事項 | 「 」のフェアプレー 8か条 |
|--|---|
| ①グループごとの運動する場所や役割分担を確認，指導する。 ②用具は決められた場所に置くよう指導する。 ③運動の際には，お互いに声をかけ合い，児童同士の衝突がないように配慮する。 ④怪我人や体調不良者等がいる場合は，保護者や養護教諭等とも連携しながら，本人の様子により可能な範囲で，見合う，教え合う，励まし合う場面で参加できるように配慮する。 ⑤ボールを捕るときは，胸で抱え込んだり，手を開いて包み込むように捕ったりするように指導する。 ⑥平均台を渡るときは，位置を確認したり，両手を広げてバランスをとったりするように指導する。 | ◎仲間が失敗したら励まし，積極的に応援します。 ◎運動のルールやマナーを守ります。 ◎用具の準備や後片付けを自分から進んでやります。 ◎用具や場所の安全を確かめて運動します。 ◎集合や移動を素早くします。 ◎審判や係などの役割を自分からやります。 ◎勝敗の結果を受け入れます。 ◎最後まで全力でプレーします。 |

9 本時の指導

(1) 本時の目標 (5 / 6)

- ・多様な動きをつくる運動の行い方を知り，体のバランスをとったり，用具を操作したりするとともに，それらを組み合わせた動きができるようにする。 (知識及び技能)
- ・運動の行い方について，考えたことや見付けたことを友達に伝えることができるようにする。 (思考力，判断力，表現力等)
- ・使用する用具の準備や片付けを，友達と一緒にできるようにする。 (学びに向かう力，人間性等)

(2) 展開

| 時配 | 過程 | 学習内容と活動 | ○指導と支援 ◇評価 (体育の学力) | 備考 |
|----|---------------------------------|---|---|-------|
| 7 | あいさつ 準備 ウォーミングアップ 健康観察 | ・場作りや用具の準備を行う。 <体ほぐしの運動> ・ラインおに ・学習カードを持って集合し，健康観察をする。 | ○場の安全を確認するよう指導する。 ○楽しんで取り組み，心と体の関係や変化に気付くような声かけをする。 ○顔色や服装の確認を行う。 | 掲示資料 |
| 30 | 課題確認 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 組み合わせた動きをちょっとむずかしくするには，どうしたらよいだろうか。 </div> ・学習カードに記述した前時の課題とそれに対する教師のコメントを読んで見通しをもってからゲームに臨む。 | ○前時に見付けたコツを確認できるように，友達に伝わりやすく書いていた学習カードを拡大コピーして紹介する。 ○前時に行った動きをいくつか取り上げ，時間や回数，テンポなどを変えを確認する。 | 学習カード |

| | | | | |
|---|--|--|---|--|
| 8 | <p>多様な動きをつくる運動 <前半></p> <p><後半></p> <p>反省 まとめ</p> <p>片付け</p> <p>クール ダウン あいさつ</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに動きの時間や回数，テンポなどを変える。 ・基本的な動きを組み合わせる運動（グループ） ・グループごとに選択した動きを時間や回数，テンポなどを変えて取り組む。 ・基本的な動きを組み合わせる運動（ペアグループ） ・ペアグループに自分達が組み合わせた技を紹介して楽しむ。 ・学習カード記述（3分間） ・それぞれが考えた動きの組み合わせ方や見つけたコツについて話し合う。 ・協力をして後片付けをする。 ・使った部位をほぐす。 | <p>○「○○しながら△△」「○○してから△△」という工夫になっているかの確認をする。</p> <p>◇運動の行い方について，考えたことや見つけたことを友達に伝えようとしている。（思考・判断・表現）</p> <p>「努力を要する児童への指導」</p> <p>○友達の運動をよく見て自分との違いを見付けたり，学習カードやグループファイルを用いて考えを伝えたりするように指導する。</p> <p>・児童が発言を行う際，他の児童の意見を受けて発言できるように支援する。（言語活動）</p> <p>・学習の成果や反省を学習カードに記述し，動きのコツを確かめられるようにする。</p> <p>・動きのコツを全体で確認する。</p> <p>◇使用する用具の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p> <p>「努力を要する児童への指導」</p> <p>○役割を確認し，グループの皆と一緒に活動できるように指導する。</p> | <p>ボール ケンステップ 平均台 短縄 長縄 コーン フラフープ</p> <p>学習カード</p> |
|---|--|--|---|--|